

認定番号：119

サポーター名：株式会社EnPal

▶実施内容の分類：(3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介

取組実績

令和7年10月12日 岐阜県の女性防災士会にて講演

清流の国ぎふ女性防災士会主催のセミナーにて「高齢化社会の中で老いと防災に向き合う」と題した講演。介護によって防災士活動の両立が出来なくなるという課題を前に、被災と遠距離介護の体験から気づいた被災者が被災地に戻ってからの地域のコミュニティの在り方やコミュニティの結び直しについて言及した。



参加費 無料

高齢化社会のなかで
老いと防災に
向き合う

講師
金藤純子氏

遠距離介護の
当事者が語る

プロフィール

2018年西日本豪雨で自宅が全壊した経験を引きかき、同僚が認知症を発症、入退院を繰り返す親の在宅生活を支え東京と岡山を往復する遠距離介護を続けている。
2020年6月防災啓蒙活動を行う株式会社EnPal 起業。岡山大学では、事前防災における自助共助公助の役割と防災まちづくりについて研究。
2024年出版の『今すぐ逃げて！人ごとではない自然災害』（プレジデント社）で「老いと防災」をリアルに書く。

令和7年10月12日（日曜日）

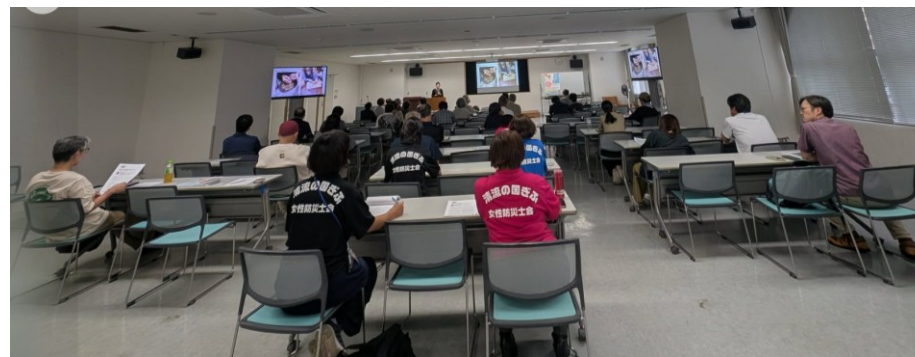
日時 14:00～15:30（13:30受付開始）

場所 ハートフルスクエア-G 2F大研修室
岐阜市橋本町1丁目10番地23（JR岐阜駅東）

定員 先着80名（定員になり次第締め切らせていただきます）

申込み方法 右のQRコードか下のURLからお気軽にお申込みください
<https://forms.gle/HvnKLqiMTgajjQYp8>

主催：清流の国ぎふ女性防災士会 後 援：清流の国ぎふ防災・減災センター
共催：岐阜市女性センター 連絡先：joseibosai2017@gmail.com
担当 伊藤




2018年西日本豪雨被災者が語る

今すぐ逃げて！人ごとではない自然災害

はじめに
第1章 西日本豪雨で私の身に何が起きたのか
第2章 なぜ毎年河川が氾濫するようになったの？
第3章 「公助」のハード対策はどれだけ役に立っているの？
第4章 激変する環境に対応する「流域治水」という考え方
第5章 「自助」ってなんだ？
第6章 「共助」ってなんだ？
第7章 エピソード
おわりに

プレジデント社



輪中で暮らした先祖の知恵

●西濃地区南部の歴史を知る方の話（福来・高須・多芸輪中についての証言）

「地縁で結ばれる輪中で暮らす人々」

- 水害が少なくなった現代、輪中の生活記録を残したいと考え、昭和30年頃から写真を集めてきました。
- 輪中で暮らした先祖の知恵には、たくさん学ぶべきものがあります。木曾三川流域は水害から逃れられない宿命を背負った土地だと思います。
- 輪中で暮らす人は、治水においても合理的であった輪中の知恵を見直し、**自主防災の意識を持つことが大切か**と思います。
- 一般的には血縁で結ばれますが、輪中で暮らす人は地縁により結ばれていました。近年、地縁の関係が薄れてきましたが、輪中で暮らす人にはとても大事なことだと考えます。

多芸輪中の洪水の様子
【長老福来老町・昭和34年8月・撮影：河合孝】

出所：岐阜県県土整備部河川課資料

認定番号：119

サポーター名：株式会社EnPal

▶実施内容の分類：(3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介

取組実績

令和7年11月23日 倉敷市総合防災訓練「くらしき防災フェア」に出展

くらしき防災フェアは「気軽に楽しく防災について考える」をコンセプトに、働く世代を中心とした幅広い世代の方が参加できる“体験型”の防災普及啓発イベント。11月8日の津波防災の日にちなんで、令和4年度より、毎年11月に実施されており、EnPalは在籍中の岡山大学研究室として出展。倉敷市下水道部と共に参加型の展示を行った。



展示内容

- ①内水・外水の説明模型、雨水タンク効果説明模型
- ②マンホール噴き出し模型
- ③耐震補強効果説明模型
- ④液状化模型（岡山大学）
- ⑤長周期振動説明模型
- ⑥液状化によるマンホール浮上の体験模型
- ⑦雨水タンク・止水版展示
- ⑧マンホールトイレ展示
- ⑨災害用トイレ（岡山大学）



認定番号：119

サポーター名：株式会社EnPal

▶実施内容の分類：(3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介

取組実績

令和8年3月10日 岡山県備中県民局 民生委員・児童委員研修会にて講演

民生委員・児童委員として地域での実践活動に必要な知識や技術を深めるとともに、地域福祉の推進の担い手としての活動意欲の醸成を図ることを目的とした研修。
 継続民事委員と新任民事委員300人が参加。
 要援護者支援の負担感が大きい民事委員の状況を踏まえ、アンテナとしての役割と共に、災害予防の具体的な先行事例、自主防災組織の活動事例を紹介した。



災害に備える民生委員・児童委員活動10か条

災害に備える民生委員・児童委員活動 10か条
 (災害準備・災害発生時として災害に備える活動)

- 1 自分自身と家族の安全確保を最優先に考える
- 2 地域の危険箇所(浸水想定区画)を把握し、避難経路を確認しておく
- 3 避難場所(避難所)を確認しておく
- 4 避難用品(食料・飲料・寝具・現金)を準備しておく
- 5 災害発生時の連絡手段を確認しておく
- 6 災害発生時の対応方法を把握しておく
- 7 災害発生時の対応方法を把握しておく
- 8 災害発生時の対応方法を把握しておく
- 9 災害発生時の対応方法を把握しておく
- 10 災害発生時の対応方法を把握しておく

